有本芳水（ありもとほうすい）詩人。明治十九年（一八八六）二月二日兵庫県生れ、昭和五十一年一月二十一日没（一九七六）。本名歓之助。筆名有本歓之介、有本生、有本芳波、芳水子、芳水道郎、芳水生等。明治四十（一九〇七）年早稲田大学卒。實業之日本社入社。雑誌『日本少年』主筆、『實業之日本』編輯長、取締役、監査役等歴任。昭和二十年岡山移住。のち吉備商科短期大学教授。

著書『少年春雄』（共著、大正一一年八月十日實業之日本社）、詩集『旅人』（大正六年一月七日實業之日本社）、『ふる郷』（大正七年二月一二日實業之日本社）、『誰にも出来る貯金法百種公開』（本名、昭和八年一月五日實業之日本社）、『低金利時代の利殖と投資』（同、昭和十一年十一月六日實業之日本社）等。